

年間授業計画

東京都立つばさ総合高等学校 令和6年度（2年次用） 地理歴史科 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 ・ 3 年次

教科担当者： 地理総合①～⑦（奥澤）

使用教科書： （ 地理総合 世界に学び地域へつなぐ（二宮書店） ・ 詳解現代地図 最新版（二宮書店） ）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	1 球面上の世界 【知識及び技能】地球上での位置、太陽高度の変化、緯度経度のしくみ、時差の計算について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】球体としての地球の観点から、図を活用して地球上の位置や時差のしくみを捉え、説明する。 【学びに向かう力、人間性等】球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組む。	[指導事項] 1. 位置の基準～地球上の緯度と経度 2. 時間の基準～時差と標準時 [指導内容] ・地球上の位置情報の基礎として、球体としての地球、緯度・経度の基本的なしくみ、地球上での位置の示し方を理解する。 ・経度の違いから時差の概念を捉え、日常生活における時差計算の技能を身につけ、球面として成り立つ世界認識をもつ。	【知識及び技能】地球上での位置、太陽高度の変化、緯度経度のしくみ、時差の計算について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】球体としての地球の観点から、図を活用して地球上の位置や時差のしくみを捉え、説明できたか。 【学びに向かう力、人間性等】球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組むことができたか。	○	○	○	4
	2 暮らしのなかの地図とGIS 【知識及び技能】GISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解し、GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法を身につけたか。地理院地図やひなたGISなどインターネット上のGISの機能を利用し、地理空間情報を活用できたか。 【思考力、判断力、表現力等】身近な地図について、目的により表現方法に違いがあることが判断できる。紙の地形図と電子地図の用途や活用について、地図の有用性の観点からそれぞれの長所を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】身の回りの地図に興味を持ち、意欲的に地図の知識を活用する。GISの作業に意欲的に取り組み、GISで作成した地図から地域の特徴を分析しようとする。	[指導事項] 1. 身の回りの地図を集める 2. 地理院地図の活用 3. 地理院地図・地形図の見方 4. GISの仕組みと役割 [指導内容] ・身近な地図を集め、それらの地図の特徴を捉え、地図情報の有用性を理解する。 ・地図情報を活用する方法として、紙地図と電子地図としてのGISがあることを理解し、地理院地図や地形図を通して認識する。 ・GISが日常生活にも利用されている事例を捉え、大量の地理情報を処理できるGISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解する。 ・GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法と技能を身につける。	【知識及び技能】GISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解し、GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法を身につけたか。地理院地図やひなたGISなどインターネット上のGISの機能を利用し、地理空間情報を活用できたか。 【思考力、判断力、表現力等】身近な地図について、目的により表現方法に違いがあることが判断できたか。紙の地形図と電子地図の用途や活用について、地図の有用性の観点からそれぞれの長所を考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】身の回りの地図に興味を持ち、意欲的に地図の知識を活用できたか。GISの作業に意欲的に取り組み、GISで作成した地図から地域の特徴を分析しようとしたか。	○	○	○	5
	3 地形と生活文化 【知識及び技能】地形についての知識を身につけ、世界的視野から地形の分布の特徴を捉える。地形図から等高線や地図記号などを判読し、地形の特徴や土地利用を捉える。 【思考力、判断力、表現力等】世界	[指導事項] 1. 変動帯とプレート 2. 河川がつくる地形と生活 3. 海岸の地形と生活 4. 地理院地図・地形図の読図 [指導内容] ・世界の大地形の広がりがプレー	【知識及び技能】地形についての知識を身につけ、世界的視野から地形の分布の特徴を捉えることができたか。地形図から等高線や地図記号などを判読し、地形の特徴や土地利用を捉えることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地				

1 学 期	の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地形配置と比較しながら考察する。生活している地域の地形の特徴について、写真、地形図などから捉え、人間生活との関連を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組む。地形図を用いた作業に意欲的に取り組み、地形と人間生活とのつながりを捉えようとする。	プレートテクトニクスにもとづくプレート境界と関連し、変動帯に位置する場所では山岳地域や高原を形成し、地震あるいは場所によって火山を伴うことを理解する。 ・河川、海岸などの外的営力による地形の形成とその広がり、およびそれらの地形と対応した人々の生活と地形を取り巻く環境の変化について、写真や地形図などの資料を通して考える。	形配置と比較しながら考察できたか。生活している地域の地形の特徴について、写真、地形図などから捉え、人間生活との関連を考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組んだか。地形図を用いた作業に意欲的に取り組み、地形と人間生活とのつながりを捉えようとしたか。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	4 日本の位置と領域 【知識及び技能】世界地図の主な図法と利用について理解する。国家の領域に関する知識を身に付け、日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界地図を図法の違いにより使い分け。日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】様々な世界地図の違いに関心を持ち、資料などから様々な世界地図の存在に気づく。日本の領域に関する問題について、意欲的に探究し、海洋資源の問題とともに考える。	[指導事項] 1. 視点を変えてみた日本の位置 2. 国家とその領域 3. 海に広がる日本の領域 4. 日本の領域に関する問題 [指導内容] ・図法によって異なる世界地図の特色を捉え、スケール、視点、図法などを変化させながら、世界における日本の位置を理解する。 ・グローバルな立場から日本の領域を理解するために、国境や国家の領域の世界的な基準を捉えながら、日本が抱える周辺諸国間との領有権の問題や海洋資源の利用について考える。	知識及び技能】世界地図の主な図法と利用について理解できたか。 国家の領域に関する知識を身に付け、日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がりを理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】世界地図を図法の違いにより使い分けることができたか。 日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】様々な世界地図の違いに関心を持ち、資料などから様々な世界地図の存在に気づくことができたか。 日本の領域に関する問題について、意欲的に探究し、海洋資源の問題とともに考えることができたか。	○	○	○	4
	5 寒冷な気候と生活文化 ～ロシア 【知識及び技能】図版や写真から寒冷な自然環境の特徴を捉え、生活文化や産業の発展と関連づけて整理する。周辺国との関連から産業の発展を捉え、経済発展が自然環境へもたらす影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】寒冷な気候と生活文化との関連を捉え、開発が自然環境に与えた影響と課題について考察する。日本周辺の自然環境とシベリアのつながりを捉え、自然環境の変化による影響を協議する。 【学びに向かう力、人間性等】寒冷地域の自然環境と生活文化の相互の関連を捉え、ロシアの特徴を意欲的に追究する。経済と環境の両面をふまえた開発と自然環境の保全を意欲的に捉える。	[指導事項] 1. 寒冷な気候と生活・産業 2. 寒冷地域の開発による成長と課題 [指導内容] ・寒冷な自然環境に焦点を当て、ロシアを例に主題図やグラフなどの資料をもとに気候に制約を受ける農業など、自然環境と人々の生活との対応を理解する。 ・豊富な鉱物資源を背景にしたヨーロッパ諸国や日本など東アジアとの結びつきや近年の開発による自然環境への影響を考える。	【知識及び技能】図版や写真から寒冷な自然環境の特徴を捉え、生活文化や産業の発展と関連づけて整理できたか。周辺国との関連から産業の発展を捉え、経済発展が自然環境へもたらす影響を理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】寒冷な気候と生活文化との関連を捉え、開発が自然環境に与えた影響と課題について考察できたか。日本周辺の自然環境とシベリアのつながりを捉え、自然環境の変化による影響を協議できたか。 【学びに向かう力、人間性等】寒冷地域の自然環境と生活文化の相互の関連を捉え、ロシアの特徴を意欲的に追究できたか。経済と環境の両面をふまえた開発と自然環境の保全を意欲的に捉えることができたか。	○	○	○	5
	6 国内や国家間の結びつき 【知識及び技能】人・モノ・情報の結びつきに関する知識を身に付ける。統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につける。主題に対して適切な統計地図を作成する。 【思考力、判断力、表現力等】複数の統計地図を結びつけ、世界の結びつきや偏りについて考察し説明する。地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】統計資料を意欲的に読み取り、それを表現する。統計地図の作成に意欲的に取り組む。	[指導事項] 1. 国家間の結びつき 2. 主題図・グラフの見方 3. 交通・通信・貿易・物流・観光による結びつき [指導内容] ・グローバル化が進む世界において、国家間の協調や不均衡を理解するために、世界の実態を捉えるための道具としての統計地図やグラフのつくり方を理解する。 ・交通・通信、貿易・物流、観光の視点から、人やもの、情報、資本・サービスの移動のようすについて、統計地図やグラフなどの資料から読み取る技能を身につける。 ・グローバルな視点から持続可能な社会の形成のために、資料を根拠として示しながら課題解決のための方策を多面的・多角的に考える。	【知識及び技能】人・モノ・情報の結びつきに関する知識を身につけたか。統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につけたか。主題に対して適切な統計地図を作成できたか。 【思考力、判断力、表現力等】複数の統計地図を結びつけ、世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できたか。地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】統計資料を意欲的に読み取り、それを表現できたか。統計地図の作成に意欲的に取り組むことができたか。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1

							1
2 学期	7 宗教・言語と生活文化 【知識及び技能】世界の多様性を理解し、異文化を尊重する姿勢が重要であることを理解する。主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の宗教の分布と特徴を捉える。 【思考力、判断力、表現力等】生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察する。世界的な難民と移民の問題を地図などの資料から捉え考察する。 【学びに向かう力、人間性等】世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究する。難民と移民の問題構造を調べ、難民問題の解決策を意欲的に探究する。	[指導事項] 1. 宗教の分布と生活文化 2. 言語の分布と生活文化 3. 移民と難民 4. 生活文化の多様性 [指導内容] ・世界でみられる生活文化の多様性について、宗教、言語の分布や人々との関わりを主題図や写真などの資料を通じて理解するとともに分布を示す要因について理解する。 ・世界の少数民族、移民、難民の問題を捉えながら、マイノリティなどをふまえた多様な人々に配慮し、自他の文化を尊重する社会の実現を考える。	【知識及び技能】世界の多様性を理解し、異文化を尊重する姿勢が重要であることを理解したか。主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の宗教の分布と特徴を捉えることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。世界的な難民と移民の問題を地図などの資料から捉え、考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。難民と移民の問題構造を調べ、難民問題の解決策を意欲的に探究できたか。	○	○	○	4
	8 土地の開発による生活文化の形成～ラテンアメリカ 【知識及び技能】図版や写真から開発の背景を捉え、開発と自然環境、生活文化、産業との関わりを整理する。資料から開発により生じているラテンアメリカの課題を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】図版と写真から、自然環境と生活文化の共通性と異質性を開発の歴史から考察する。資源を背景とした経済発展とそれに伴う経済格差の現状について、課題とともに協議する。 【学びに向かう力、人間性等】自然環境と生活文化の相互の関連を捉え、開発の背景について意欲的に探究する。都市問題や経済問題、環境問題などについて意欲的に調べ、その要因と解決について協議する。	[指導事項] 1. 開発による農牧業の発展と生活文化 2. 開発による発展と社会にみられる課題 [指導内容] ・開発に焦点を当て、ラテンアメリカで様々な人びとが生活している理由やプランテーションをはじめ農業や鉱業などの産業の多様性がみられる理由について、主題図やグラフなどの資料をもとに多様な自然環境や植民地時代の開発の影響、そして近年の社会経済システムの変化から捉える。 ・鉱工業が発展していく中で生じている貧富の差の現状を捉え、その解決に向けた取り組みを考える。	【知識及び技能】図版や写真から開発の背景を捉え、開発と自然環境、生活文化、産業との関わりを整理できたか。資料から開発により生じているラテンアメリカの課題を読み取ることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】図版と写真から、自然環境と生活文化の共通性と異質性を開発の歴史から考察できたか。資源を背景とした経済発展とそれに伴う経済格差の現状について、課題とともに協議できたか。 【学びに向かう力、人間性等】自然環境と生活文化の相互の関連を捉え、開発の背景について意欲的に探究できたか。都市問題や経済問題、環境問題などについて意欲的に調べ、その要因と解決について協議できたか。	○	○	○	5
	9 資源・エネルギー問題 【知識及び技能】主題図から資源の分布が偏在していることを理解する。限りある資源の問題を解決するためのリサイクルや再生可能エネルギーのしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】主題図などをもとに鉱物資源とエネルギー資源の分布と今後の将来需要を予測し、SDGsの目標をふまえて今後必要な鉱物やエネルギーの利用について提案する。 【学びに向かう力、人間性等】日常利用されている鉱物資源やエネルギー資源を調べ、その輸入先やリサイクルなどの現状を意欲的に探究し、持続可能な利用について追究する。	[指導事項] 1. 鉱物資源・エネルギー資源とその課題 2. 資源のリサイクル・再生可能エネルギー [指導内容] ・地球規模で起こる資源の問題について主題図などの資料をもとに考え、偏在して分布することで保有国と非保有国との間に格差があることを認識する。 ・エネルギー資源の変化を捉えながら資源の大量消費によって枯渇の恐れがあることを認識し、これらの解決のための取り組みをSDGsと関連づけて考える。	【知識及び技能】主題図から資源の分布が偏在していることを理解できたか。限りある資源の問題を解決するためのリサイクルや再生可能エネルギーのしくみを理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】主題図などをもとに鉱物資源とエネルギー資源の分布と今後の将来需要を予測し、SDGsの目標をふまえて今後必要な鉱物やエネルギーの利用について提案できたか。 【学びに向かう力、人間性等】日常利用されている鉱物資源やエネルギー資源を調べ、その輸入先やリサイクルなどの現状を意欲的に探究し、持続可能な利用について追究できたか。	○	○	○	4
	定期考查			○	○	○	1
2 学期	10 産業と生活文化 【知識及び技能】世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観する。主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の産業の分布と発達を捉える。 【思考力、判断力、表現力等】自然環境が産業の形成に関わっているこ	[指導事項] 1. 農業の発展と生活文化 2. 工業の発展と生活文化 3. サービス業の発展と生活文化 [指導内容] ・世界の生活文化が各地域の環境に基づいて発達する産業を基盤に	【知識及び技能】世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できたか。主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できたか。世界の産業の変化をグローバ				

	とを資料をもとに考察する。世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察する。 【学びに向かう力、人間性等】身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究する。産業が発達し続けていることを、時事的話題とともに意欲的に捉える。	成り立つ現状を捉え、世界スケールにおける第1次産業、第2次産業、第3次産業の地域的な特徴をグローバル化の観点で理解する。 ・産業の発達と生活文化がどのようにかわるのか、産業はどのように変化してきているのか、主題図などの資料を通じて理解を深める。	ル化の観点で考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究できたか。産業が発達し続けていることを、時事的話題とともに意欲的に捉えようとしたか。	○	○	○	4
	11 経済発展と生活文化の変化 ～東アジア 【知識及び技能】図版や写真から社会経済システムの特徴と変化を捉え、課題を整理する。中国や韓国を例に経済発展が生活文化に与えた影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】中国や韓国の工業の発達に伴う人口や環境などへの影響について、主題図などの資料をもとに考察する。日中韓の連携を学習内容から見出し、新しい関係づくりを捉える。 【学びに向かう力、人間性等】身の回りの中国や韓国の商品や韓国を意欲的に調べ、中国や韓国の経済成長と課題について探究する。日本を含めた日中韓の貿易や観光などの経済的な関係を意欲的に探究する。	[指導事項] 1. 経済発展を支える自然・農業と生活文化 2. 市場経済化と生活文化の変化～中国 3. 輸出による発展と生活文化の変化～韓国 4. 経済発展による変化と課題 [指導内容] ・社会経済システムの変化に焦点を当て、東アジアの中国と韓国を例に両国の特徴を主題図やグラフなどの資料を通じて捉える。 ・特に世界や日本、中国、韓国の3か国とのつながりから両国の経済発展の発達過程について理解し、経済発展の結果として起きている様々な問題について生活文化と対応させながら考える。	【知識及び技能】図版や写真から社会経済システムの特徴と変化を捉え、課題を整理できたか。中国や韓国を例に経済発展が生活文化に与えた影響について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】中国や韓国の工業の発達に伴う人口や環境などへの影響について、主題図などの資料をもとに考察できたか。日中韓の連携を学習内容から見出し、新しい関係づくりを捉えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】身の回りの中国や韓国の商品や韓国を意欲的に調べ、中国や韓国の経済成長と課題について探究できたか。日本を含めた日中韓の貿易や観光などの経済的な関係を意欲的に探究できたか。	○	○	○	5
	12 人口・食料問題 【知識及び技能】世界人口の増加で生じる問題を世界的視野から理解し、人口増加地域と人口停滞地域における人口問題の違いを整理する。人口資料をもとにした図版を読み取り分析する。世界の食料問題を主題図などから現状を認識し、その自然的、社会的な背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界の人口問題の現状を資料を比較しながらまとめ、日本の人口問題についての提言を他国と比較しながら考察する。飢餓と飽食の世界的な分布を主題図やグラフなどの資料から考察し、その背景とSDGsの目標をふまえ、とくに栄養不足人口が多いサブサハラを例として対策を協議する。 【学びに向かう力、人間性等】世界や主要国の人口の推移を捉え、他国の事例を参考にして日本と比較しながら人口問題について意欲的に探究する。人口問題と食料問題をそれぞれ捉えながら、両者のつながりを図表などを用いて意欲的に整理し、国際社会の一員として取り組む国際協力を具体的に追究する。	[指導事項] 1. 人口と人口問題 2. 世界各地の人口問題 3. 二つの食料問題 4. 食料問題の背景と解決策～サブサハラ [指導内容] ・人口が急増している世界の現状を捉えるとともに、人口ピラミッドや相関図などの資料から人口問題の構造と地域差を捉え、人口問題の背景や問題点を整理する。 ・持続可能な社会をつくるために、飢餓とその要因である人口問題、食料問題について、主題図やグラフなどの資料を集め、グローバル、ローカルのそれぞれ異なる視点から根拠をもとにSDGsと関連づけ対応策を構想する。	【知識及び技能】世界人口の増加で生じる問題を世界的視野から理解し、人口増加地域と人口停滞地域における人口問題の違いを整理できたか。人口資料をもとにした図版を読み取り分析することができたか。世界の食料問題を主題図などから現状を認識し、その自然的、社会的な背景を理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】世界の人口問題の現状を資料を比較しながらまとめ、日本の人口問題についての提言を他国と比較しながら考察できたか。飢餓と飽食の世界的な分布を主題図やグラフなどの資料から考察し、その背景とSDGsの目標をふまえ、とくに栄養不足人口が多いサブサハラを例として対策を協議できたか。 【学びに向かう力、人間性等】世界や主要国の人口の推移を捉え、他国の事例を参考にして日本と比較しながら人口問題について意欲的に探究できたか。人口問題と食料問題をそれぞれ捉えながら、両者のつながりを図表などを用いて意欲的に整理し、国際社会の一員として取り組む国際協力を具体的に追究できたか。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	13 気候と生活文化 【知識及び技能】大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解する。各気候の分布の特徴を理解する。雨温図や写真から情報を抽出し、各気候と植生の対応や、それらが関連した人々の生活の特徴を読み取る。	[指導事項] 1. 大気の循環 2. 気候の地域性 3. ケッペンの気候区分 4. 熱帯の自然環境と生活 5. 乾燥帯の自然環境と生活 6. 温帯の自然環境と生活	【知識及び技能】大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解できたか。各気候の分布の特徴を理解できたか。雨温図や写真から情報を抽出し、各気候と植生の対応や、それらが関連した人々の生活の特徴を読み取り、整理できたか。 【思考力、判断力、表現力等】世界規模の大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解できたか。各気候の分布の特徴を理解できたか。雨温図や写真から情報を抽出し、各気候と植生の対応や、それらが関連した人々の生活の特徴を読み取り、整理できたか。				

3 学 期	取り、整理する。 【思考力、判断力、表現力等】世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していることを資料をもとに考察する。気候の分布の規則性を気候区分図をもとに考察する。写真などの資料をもとに、各気候により景観が異なることを捉え、農業や生活への影響を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】雨温図や写真の判読を通じて、世界各地の気候や生活文化の対応について意欲的に探究する。雨温図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組む。	7. 亜寒帯・寒帯の自然環境と生活 【指導内容】 ・世界的な視野から大気や海流が循環するしくみを捉え、地球上ではそれらの影響を反映した気候の地域性が生まれていることを理解する。 ・降水量と気温の特徴をふまえながら世界の気候をケッペンの気候区分から捉え、植生や農業などの人々の生活文化に多様な影響を与えていることを理解する。 ・熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯の各気候は人々の生活文化とどのような関わりをもつのか、どのような生活の工夫があるのか、写真や雨温図などの資料から考える。	気候のしくみが人間生活に影響していることを資料をもとに考察できたか。気候の分布の規則性を気候区分図をもとに考察できたか。写真などの資料をもとに、各気候により景観が異なることを捉え、農業や生活への影響を考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】雨温図や写真の判読を通じて、世界各地の気候や生活文化の対応について意欲的に探究できたか。雨温図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組んだか。	○	○	○	3
	14 グローバル化による生活文化の変化 ～アメリカ・カナダ 【知識及び技能】図版や写真からアメリカの産業を捉えながら、世界の生活文化や経済への影響を整理する。経済発展の基盤となる社会の多様性を捉え、アメリカの農業とグローバルな食文化との関係や産業の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】グローバルな観点やからアメリカの社会経済システムを主題図などの資料から捉え、世界の経済や生活文化への影響を考察する。産業や世界の貿易体制の変化を考察し、それに伴う世界やアメリカの課題について説明する。 【学びに向かう力、人間性等】アメリカの社会経済システムを農業、工業などの観点から多面的、多角的に捉え、世界への影響を意欲的に探究する。アメリカの貿易体制の葛藤を学習内容から意欲的に考え、世界への影響をふまえながら追究する。	【指導事項】 1. 経済発展の基盤となった社会の多様性 2. 大規模な農業とグローバルな食文化 3. グローバル化による変化と課題 【指導内容】 ・社会経済システムのグローバル化に焦点を当て、主題図や写真などの資料を通じて、民族構成から多様な社会と歴史的背景を理解する。 ・企業の農業の発達とアメリカ合衆国の外食産業やICT産業などの多国籍企業が世界の経済や生活文化に影響を与えている現状を捉える。 ・アメリカ合衆国の貿易の問題についてグローバルな視点で考える。	【知識及び技能】図版や写真からアメリカの産業を捉えながら、世界の生活文化や経済への影響を整理できたか。経済発展の基盤となる社会の多様性を捉え、アメリカの農業とグローバルな食文化との関係や産業の変化について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】グローバルな観点やからアメリカの社会経済システムを主題図などの資料から捉え、世界の経済や生活文化への影響を考察できたか。産業や世界の貿易体制の変化を考察し、それに伴う世界やアメリカの課題について説明できたか。 【学びに向かう力、人間性等】アメリカの社会経済システムを農業、工業などの観点から多面的、多角的に捉え、世界への影響を意欲的に探究できたか。アメリカの貿易体制の葛藤を学習内容から意欲的に考え、世界への影響をふまえながら追究できたか。	○	○	○	4
	15 居住・都市問題 【知識及び技能】世界の視野で都市人口率の増加を捉え、都市内部の視野で景観や場所による役割の違いをふまえながら都市の構造を理解する。人口が集中する都市で生じる問題と都市計画が行われた事例から問題の対策例を整理する。 【思考力、判断力、表現力等】都市への人口集中を主題図やグラフから捉え、都市と農村の景観を比較しながら考察する。人口集中と都市問題の発生、途上国と先進国の都市問題を通じ、人口集中によって生じる諸問題を資料をもとに考察し、SDGsの目標とともに解決の方策や課題を提案する。 【学びに向かう力、人間性等】世界的な視野と地域的な視野で縮尺を変え、都市問題の事例をもとに多角的、多面的な視点で都市問題の構造を意欲的に探究する。途上国の都市問題について先進国での都市計画などを参考に、国際協力の立場で課題解決に結びつける。	【指導事項】 1. 発達する都市 2. 都市への人口集中にともなう問題 3. 居住・都市問題と都市計画 【指導内容】 ・世界では都市に人口が集まる現象がみられることを主題図やグラフから読み取り、人口が集まる都市内部の構造を景観をふまえ理解する。 ・途上国の大都市を中心に人口集中に伴う問題が生じていることを捉え、問題の要因を理解しながら、都市の問題の改善を目指した都市計画を取り上げ、SDGsと関連づけ都市問題の解決策を考える。	【知識及び技能】世界の視野で都市人口率の増加を捉え、都市内部の視野で景観や場所による役割の違いをふまえながら都市の構造を理解できたか。人口が集中する都市で生じる問題と都市計画が行われた事例から問題の対策例を整理できたか。 【思考力、判断力、表現力等】都市への人口集中を主題図やグラフから捉え、都市と農村の景観を比較しながら考察できたか。人口集中と都市問題の発生、途上国と先進国の都市問題を通じ、人口集中によって生じる諸問題を資料をもとに考察し、SDGsの目標とともに解決の方策や課題を提案できたか。 【学びに向かう力、人間性等】世界的な視野と地域的な視野で縮尺を変え、都市問題の事例をもとに多角的、多面的な視点で都市問題の構造を意欲的に探究できたか。途上国の都市問題について先進国での都市計画などを参考に、国際協力の立場で課題解決に結びつけることができたか。	○	○	○	3
	16 日本の自然災害と防災 【知識及び技能】日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解する。日本列島における自然災害について具体的事例を通じて、災害のしくみや特徴、地域性、防災への取り組み方や課題を理解する。地形図や	【指導事項】 1. 世界地図でとらえる自然災害のリスク 2. 世界からみた日本の地形・気候の特色 3. 風水害・火山の噴火と防災 4. 地震・津波・都市型災害と防災	【知識及び技能】日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解できたか。日本列島における自然災害について具体的事例を通じて、災害のしくみや特徴、地域性、防災への取り組み方や課題を理解できたか。地形図やハザードマップを活用し、防災と避難行動について考察する技能を身につけることができ				

ハザードマップを活用し、防災と避難行動について考察する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から考察する。日本の自然環境の特徴を反映した自然災害が発生してきたことを資料から読み取り、それをふまえて自然災害時の対策を考察する。自らの生活圏の防災について、資料から適切に判断し、課題と避難行動を協議する。 【学びに向かう力、人間性等】自然環境の特徴と自然災害とのつながりを意欲的に探究し、過去の災害事例を調べる。GISなどを活用し、自然災害への対策を意欲的に探究する。災害発生時の自助・共助・公助をふまえ、身近な地域で発生が予想される場面を想定して、意欲的に対策を検討する。	5. 防災への心構え～自助・共助・公助～ 【指導内容】 ・日本列島の地形と気候の特徴を主題図、グラフ、写真などの資料をもとに、多様性や自然の恩恵があることを認識しながら、自然災害を与える要素があることを理解する。 ・日本各地では毎年のように様々な自然災害が起きていることを理解するため、風水害、火山、地震・津波、都市型の災害の具体的な事例について、新旧の地形図、ハザードマップ、気象情報、電子地図などを利用する技能とともに捉える。 ・自然災害はどのような自然環境と関係しているのか、それに対する備えはどうすれば良いのか考え、居住地域での防災・減災意識の向上につなげる。	たか。 【思考力、判断力、表現力等】日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から考察できたか。日本の自然環境の特徴を反映した自然災害が発生してきたことを資料から読み取り、それをふまえて自然災害時の対策を考察できたか。自らの生活圏の防災について、資料から適切に判断し、課題と避難行動を協議できたか。 【学びに向かう力、人間性等】自然環境の特徴と自然災害とのつながりを意欲的に探究し、過去の災害事例を調べることができたか。GISなどを活用し、自然災害への対策を意欲的に探究できたか。災害発生時の自助・共助・公助をふまえ、身近な地域で発生が予想される場面を想定して、意欲的に対策を検討できたか。	○	○	○	3
定期考査			○	○	○	1